

国公立大学法人・学校法人格付け

2008年2月18日

お問い合わせ先：

吉村真木子、東京 電話 03-4550-8368

成松恭多 (メディア・コンタクト)、東京 電話 03-4550-8411

プレスルーム(電子メールによる配信、送信トラブル)

電話 03-4550-8411 Fax 03-4550-8740

電子メール tokyo_pressroom@standardandpoors.com

日本語ウェブサイト <http://www.standardandpoors.co.jp>

S&P、青山学院を「AA-」に据え置き、アウトルックは引き続き「安定的」

据え置き

AA- 長期発行体格付け

アウトルック：安定的

(2008年2月18日、東京=S&P) スタンダード&プアーズは本日、学校法人青山学院の格付けを上記の通り据え置いた。アウトルックも引き続き「安定的」である。

日本有数のキリスト教系私学として、充実した教育内容と高い研究能力、好立地に支えられ、一貫校も含め安定的に学生を確保している。国公立大学を含めた大学・教育機関の競合環境が厳しさを増し、多くの大学が入試方法や学部構成を多様化させているなか、同校の大学の一般入試の志願者数は他大の動向の影響をやや受けやすい。こうしたなか、同校でも入試方法の変更や、学部の新設・改組に取り組み、教育機関としての魅力を高める努力を続けている。なかでも2008年4月に新設する2学部のうち、独特色の強い総合文化政策学部は多くの志願者を集めた。引き続き学部の改組や大学院の拡充が予定されていることから、学生獲得力を継続的に強化できよう。

学部や大学院の拡充に加え、好立地の青山キャンパスの魅力をさらに高めるための再開発が進行中であり、これらにより中長期的には他大との差別化を進め、社会人を含めた幅広い学生を取り込むことで、事業基盤の強化を図ることが可能だろう。学校法人としてのガバナンス・リスク管理体制は整備されており、良好に機能している。また、厚い手元流動性と引当資産に支えられ、実質無借金の良い財務体質を維持している。青山キャンパス再開発のための費用負担は10年以上の長期にわたって分散されるため、財務基盤への影響は限定されるとみられる。

アウトルックは「安定的」である。今後も日本の私学教育機関のなかで高い競争力を維持すると予想される。マネジメント陣は経済性も考慮した法人経営を行っているため、青山キャンパスでの設備投資は、すでに確定している分については豊富な手元流動性と安定したキャッシュフローを基にした内部資金で賄えるとみられる。将来的な格上げに向けては、1) 教育内容の充実化や社会人の取り込みに向けた施策が成果をあげ、学生の志望度の向上や学生層の一段の多様化により、事業・収益基盤の安定性がさらに高まる、2) 寄付金や外部資金の獲得などにより収入源を多様化し財政基盤を強化する一ことが必要である。一方、競合激化で学生獲得力や学力値が低下したり、非常に積極的な投資計画により財務面での負担が増大した場合には、格付けに下方圧力がかかろうが、現時点ではその可能性は低い。

スタンダード&プアーズは、マグローヒル・カンパニーズ（NYSE:MHP）の一部門であり、世界の金融市場に対して独立した立場から、信用格付け、株価指数、株式リサーチ、データなどの金融情報を提供している。100%子会社を含め21カ国に約8,500名のスタッフを擁し、世界の金融インフラストラクチャーのなかで重要な役割を担っている。投資や金融取引の意思決定に不可欠な情報である独立したベンチマークの提供者として、140年以上にわたって主導的な立場にある。詳細は当社日本語ウェブサイト (www.standardandpoors.co.jp)まで。

マグローヒル・カンパニーズは、スタンダード&プアーズ、ビジネスウィーク、マグローヒル・エデュケーション、J.D. パワーなどを通じて、金融サービス、教育、ビジネスに関する情報を提供する、国際的な情報サービス企業である。世界40カ国に280カ所以上の拠点を有している。詳細はウェブサイト(www.mcgraw-hill.com)まで。

格付けを商業目的でスタンダード&プアーズの有料情報サービスに類似したデータベースに蓄積したり、自動的に配信することを禁止します。